

慶應義塾大学 パネル調査共同研究拠点 主催

## パネルデータ解析入門セミナー

慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点では、主として初学者を対象としたパネルデータ分析の基礎を学ぶためのセミナーを開催いたします。

幅広い分野におけるパネルデータの公開に伴い、経済学を含む社会科学分野一般において、パネルデータを使った分析の重要性は飛躍的に増しつつあります。本セミナーでは、統計パッケージを使ったパネルデータの基本的なハンドリングの方法と基礎的な分析方法について、受講者による演習を交えながら解説を行う予定です。セミナーの概要は下記の通りです。

### 記

対 象：学部生、修士・博士課程在籍者・修了者、公務員、シンクタンク等研究機関研究員（初歩的な計量分析の知識を持っている方）

日 時：平成 23 年 3 月 7（月）～10 日（木）各日とも 13：00～18：00  
（4 日間の連続セミナーとなります）

会 場：慶應義塾大学 三田キャンパス

参加費：無料

定 員：60 名

\*定員に達しましたので、予約を締め切らせていただきました。多数のお申込をいただきありがとうございました。

概 要：実際の統計データを用いた演習を交えながら、分析手法・統計パッケージ（STATA）の利用法に関する解説を行います。演習では、慶應義塾家計パネル調査（KHPS）の一部を本セミナー用に加工したものを使用する予定です。具体的な内容は以下の通りです。

パネルデータ分析の特徴とその実例

データセットの構築（各年のデータのパネル化、変数の作成・欠損値の処理）

基本的なクロスセクション分析の解説・演習

パネルデータモデル（固定効果モデル・変量効果モデル）の解説・演習

お問い合わせ先

慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点

担当者：石井(pd-info@adst.keio.ac.jp)